

第一二七号

東海書道藝術院

東 蓄 藝

会
報

平成 27 年 12 月

<http://www.toshogei.jp/>



安藤副会長

今年も夏季恒例の東書藝研修会が、八月三十日～三十一日、三重県鳥羽市・鳥羽シーサイドホテルにて行われた。海際の高台に建つ立地で眺望良く、開放的で風が心地よい。参加者総数百二十六名。リゾートホテルの賑やかなロビー受付から会場へ移動して着席すると、気持ち引き締まってくる。定刻、名匠狂言会告知の後、安藤清舟副会

'15 東海書道藝術院研修会

鳥羽市・鳥羽シーサイドホテル

長の開会の言葉でいよいよ開始。木村大澤理事長の講話「実作に生かしたい書の名言」、ビデオ観賞「書の道」―中国書道の旅・北の博物館の至宝―と続き内容が濃い。休憩を挟み、隣室での七名の幹部先生による席上揮毫では、それぞれのテーブルから拍手歓声があがっていた。最後



風岡会長



豆子名誉会長



伊藤常任理事



宮本常任理事

に久野北崖副会長の閉会の言葉でプログラムを終了し、夜は大広間に一同に会しての懇親会が、和やかに催された。懇親も研修だ。研修局の周到な準備・運営は今回もまたスマートであった。次頁に、木村理事長の講話要約を掲載する。(ホームページ掲載予定)